

## 第2章 子ども・子育てを取り巻く現状

# 1 統計データでみる杉戸町の現状

## (1) 人口、世帯の推移

本町の人口は平成25年4月1日現在(住民基本台帳)、46,825人になっています。平成22年をピークに減少に転じています。平成21年からこの4年間で381人減少しています。

3階級別人口をみると、平成25年4月1日現在、年少人口は5,808人、生産年齢人口は29,365人、老年人口は11,652人で、構成比はそれぞれ、12.4%、62.7%、24.9%となっています。

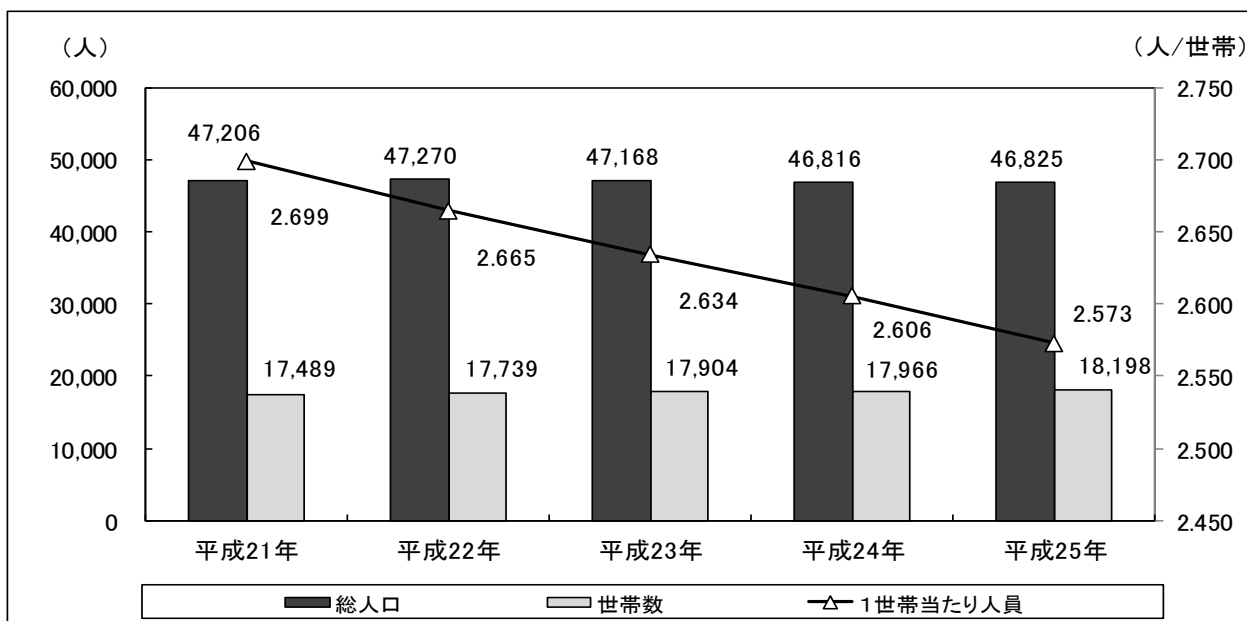
一方、世帯数については、平成25年4月1日現在、18,198世帯で、平成21年以降、増加傾向を続けており、この4年間で709世帯増加しています。結果として、1世帯当たりの人員は、平成21年の2.699人から平成25年の2.573人へと、0.126人減少しています。

### ◆人口、世帯数の推移

区 分	単 位	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
総人口	人	47,206	47,270	47,168	46,816	46,825
世帯数	世帯	17,489	17,739	17,904	17,966	18,198
1世帯当たり人員	人/世帯	2.699	2.665	2.634	2.606	2.573
年少人口	実数	6,219	6,144	6,074	5,909	5,808
	構成比	13.2	13.0	12.9	12.6	12.4
生産年齢人口	実数	31,282	30,974	30,663	29,962	29,365
	構成比	66.3	65.5	65.0	64.0	62.7
老年人口	実数	9,705	10,152	10,431	10,945	11,652
	構成比	20.6	21.5	22.1	23.4	24.9

資料:住民基本台帳(各年4月1日現在)

### ◆人口、世帯数の推移



(2) 3階級別人口構成

本町の3階級別人口については平成25年4月1日現在(住民基本台帳)、年少人口が5,808人(総人口に占める割合12.4%)、生産年齢人口が29,365人(同62.7%)、老年人口が11,652人(同24.9%)となっています。

平成21年の構成比と比較すると、この4年間で年少人口は0.8ポイント、生産年齢人口は3.6ポイント減少し、老年人口は4.3ポイント増加しています。

年少人口構成比を平成25年で比較すると(本町は住民基本台帳、埼玉県、全国は総務省人口推計結果)、本町は埼玉県、全国を0.5ポイント下回っています。本町は埼玉県、全国よりさらに少子化が進んでいると言えます。

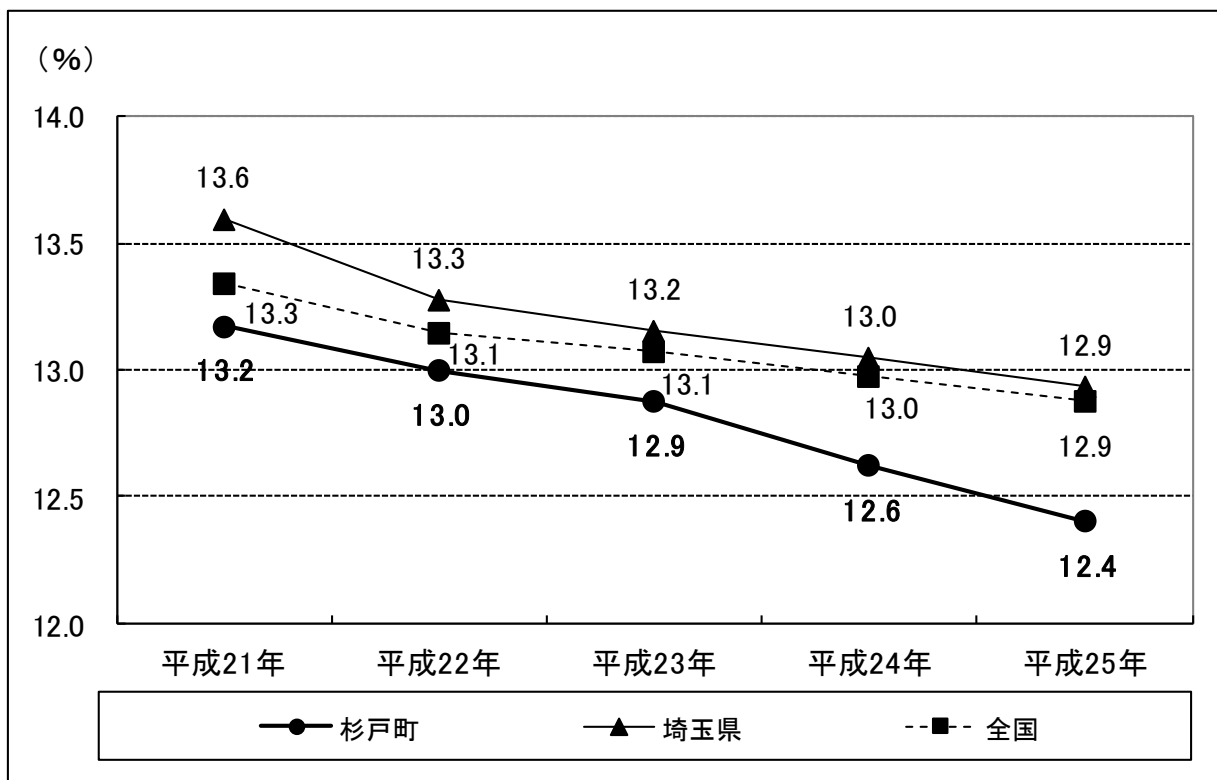
◆ 3階級別人口構成の推移

区 分		単 位	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	
杉戸町	総人口	人	47,206	47,270	47,168	46,816	46,825	
	年少人口	実数	人	6,219	6,144	6,074	5,909	5,808
		構成比	%	13.2	13.0	12.9	12.6	12.4
	生産年齢人口	実数	人	31,282	30,974	30,663	29,962	29,365
		構成比	%	66.3	65.5	65.0	64.0	62.7
	老年人口	実数	人	9,705	10,152	10,431	10,945	11,652
構成比		%	20.6	21.5	22.1	23.4	24.9	
埼玉県	総人口	千人	7,128	7,194	7,208	7,212	7,223	
	年少人口	実数	千人	969	955	948	941	934
		構成比	%	13.6	13.3	13.2	13.0	12.9
	生産年齢人口	実数	千人	4,732	4,769	4,753	4,686	4,628
		構成比	%	66.4	66.3	65.9	65.0	64.1
	老年人口	実数	千人	1,427	1,470	1,507	1,585	1,661
構成比		%	20.0	20.4	20.9	22.0	23.0	
全国	総人口	千人	127,509	128,058	127,799	127,515	127,296	
	年少人口	実数	千人	17,010	16,839	16,705	16,548	16,390
		構成比	%	13.3	13.1	13.1	13.0	12.9
	生産年齢人口	実数	千人	81,493	81,736	81,341	80,175	79,008
		構成比	%	63.9	63.8	63.6	62.9	62.1
	老年人口	実数	千人	29,006	29,483	29,753	30,792	31,898
構成比		%	22.7	23.0	23.3	24.1	25.1	

資料: 杉戸町は住民基本台帳(各年4月1日現在)

埼玉県、全国は人口推計結果(総務省)

◆年少人口構成比の推移



(3) 世帯の形態

本町の世帯の形態を国勢調査でみると平成22年現在、一般世帯合計のうち親と子どもの世帯が46.0%、夫婦のみ世帯が22.1%、単独世帯が18.6%、その他の親族世帯が12.3%、非親族世帯が1.0%の構成になっています。

平成2年以降の構成比の推移を見ると、親と子どもの世帯が大きく減少しているのに対し、夫婦のみ世帯、単独世帯が大きく増加しています。少子高齢化の進展とともに、世帯の形態は大きく変化し、核家族化から夫婦単位、単独世帯化の傾向を色濃く示しています。

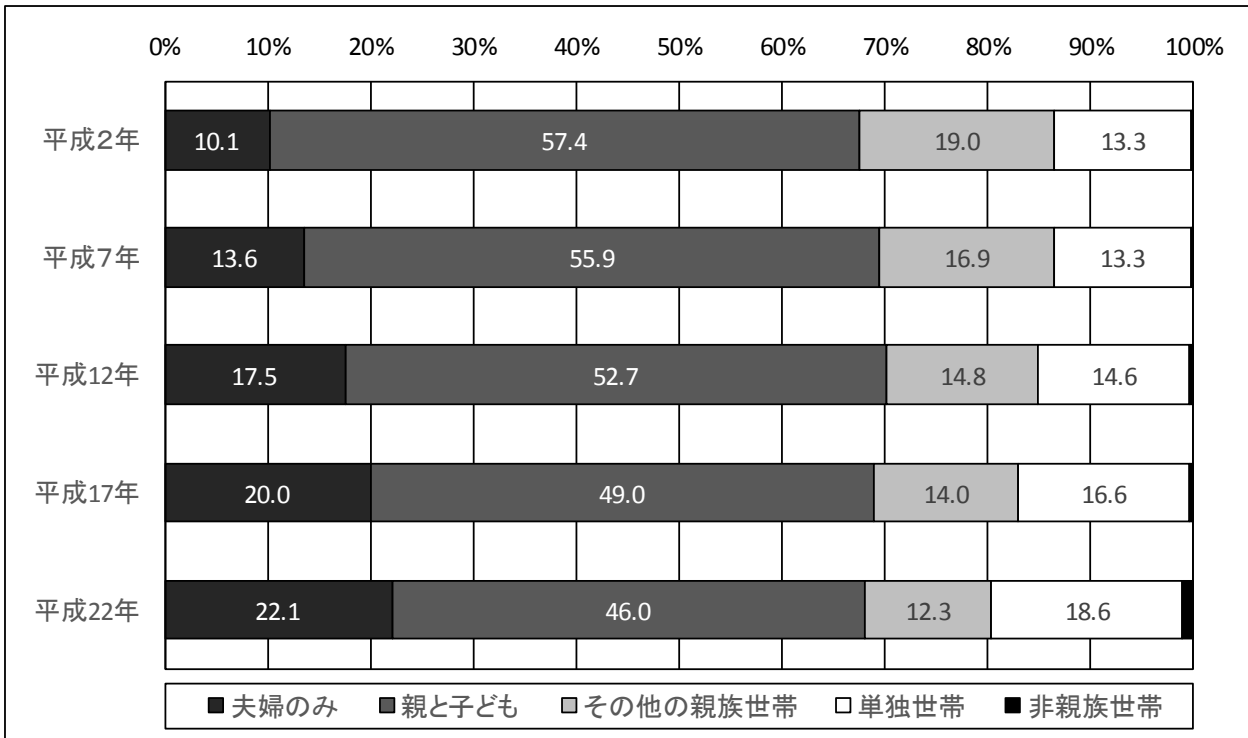
◆世帯の形態の推移

区分		単位	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
夫婦のみ	世帯数	世帯	1,167	1,852	2,669	3,148	3,680
	構成比	%	10.1	13.6	17.5	20.0	22.1
親と子ども	世帯数	世帯	6,617	7,613	8,040	7,728	7,683
	構成比	%	57.4	55.9	52.7	49.0	46.0
その他の親族世帯	世帯数	世帯	2,183	2,302	2,254	2,214	2,059
	構成比	%	19.0	16.9	14.8	14.0	12.3
単独世帯	世帯数	世帯	1,534	1,812	2,231	2,618	3,100
	構成比	%	13.3	13.3	14.6	16.6	18.6
非親族世帯	世帯数	世帯	18	28	57	60	165
	構成比	%	0.2	0.2	0.4	0.4	1.0
一般世帯合計	世帯数	世帯	11,519	13,607	15,251	15,768	16,687
	構成比	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

資料：国勢調査

## 第2章 子ども・子育てを取り巻く現状

### ◆世帯の形態の推移



#### (4) 出生数、合計特殊出生率

本町の平成25年度の出生数は238人になっています。平成20年度以降、年々減少しています。出生率（人口1,000に対する出生数）を見ると、平成25年度は5.2人で、平成20年度以降、6人前後で推移しています。埼玉県、全国と比較すると、年々ポイント差が開き、平成25年度には約3ポイント下回っています。

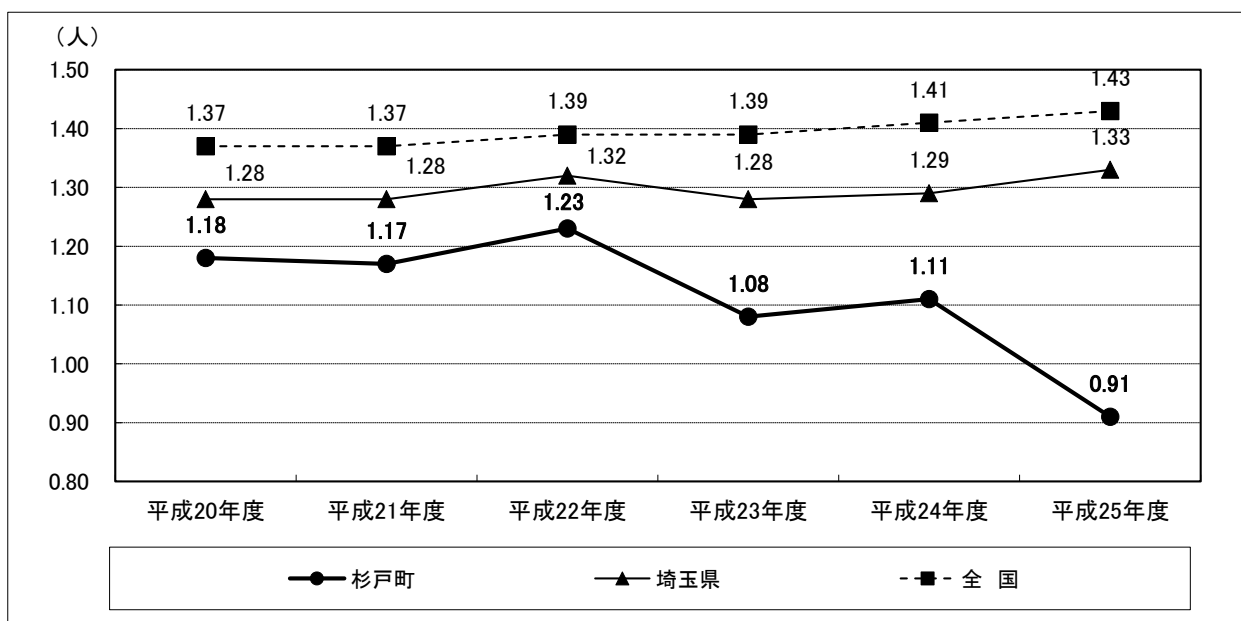
同様に合計特殊出生率について見ると、平成25年度は0.91人で埼玉県より0.42ポイント、全国より0.52ポイントと大幅に低くなっています。

### ◆出生数、出生率、合計特殊出生率

区分		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
出生数	杉戸町	人	350	348	333	302	301	238
出生率	杉戸町	‰	7.5	7.4	7.1	6.5	6.5	5.2
	埼玉県	‰	8.6	8.5	8.4	8.2	8.0	8.1
	全国	‰	8.7	8.5	8.5	8.3	8.2	8.2
合計特殊出生率	杉戸町	人	1.18	1.17	1.23	1.08	1.11	0.91
	埼玉県	人	1.28	1.28	1.32	1.28	1.29	1.33
	全国	人	1.37	1.37	1.39	1.39	1.41	1.43
乳児死亡数	杉戸町	人	1	1	-	2	-	-
乳児死亡率	杉戸町	‰	2.9	2.9	-	6.6	-	-
	埼玉県	‰	2.7	2.3	2.2	1.9	2.0	2.0
	全国	‰	2.6	2.4	2.3	2.3	2.2	2.1

資料：人口動態統計

◆合計特殊出生率の推移



※合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年度の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子どもの数に相当します。

(5) 婚姻の動向

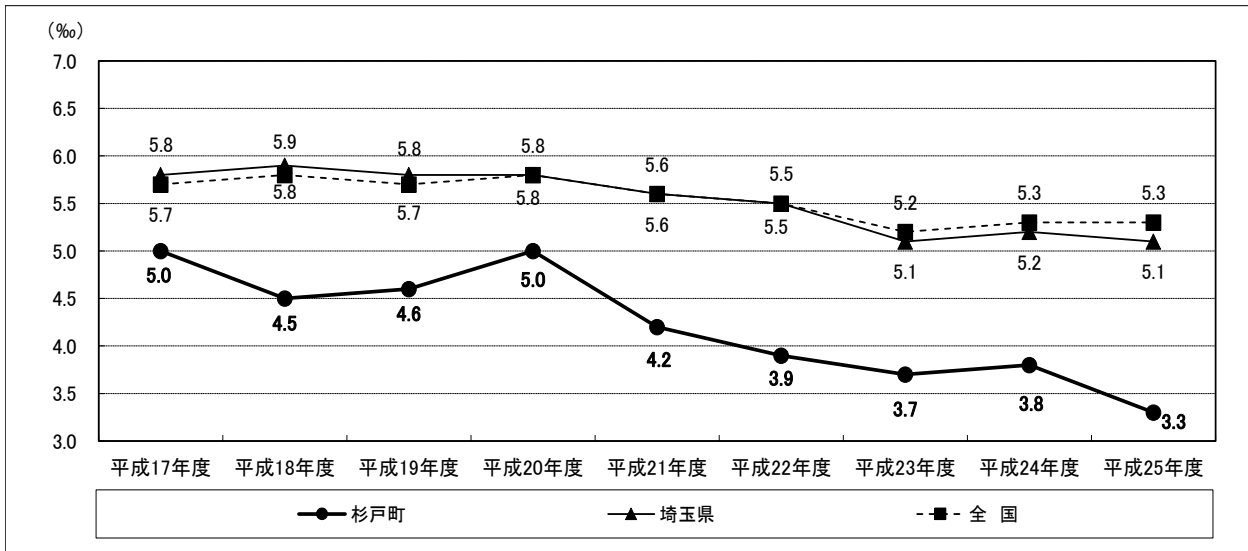
本町の婚姻率（人口1,000人に対する婚姻の件数）について見ると、平成25年度は3.3件になっています。埼玉県、全国と比較すると、1.8ポイント、また2.0ポイントと大きく下回っています。

◆婚姻率の推移

区分	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
杉戸町	‰	5.0	4.5	4.6	5.0	4.2	3.9	3.7	3.8	3.3
埼玉県	‰	5.8	5.9	5.8	5.8	5.6	5.5	5.1	5.2	5.1
全国	‰	5.7	5.8	5.7	5.8	5.6	5.5	5.2	5.3	5.3

資料：人口動態統計

◆婚姻率の推移



また、国勢調査で年代別に男女の未婚率について平成22年をみると、男性は20～24歳が94.9%、25～29歳が76.4%、30～34歳が52.4%、35～39歳が38.0%となっています。また女性は20～24歳が89.7%、25～29歳が62.4%、30～34歳が35.7%、35～39歳が22.4%となっています。

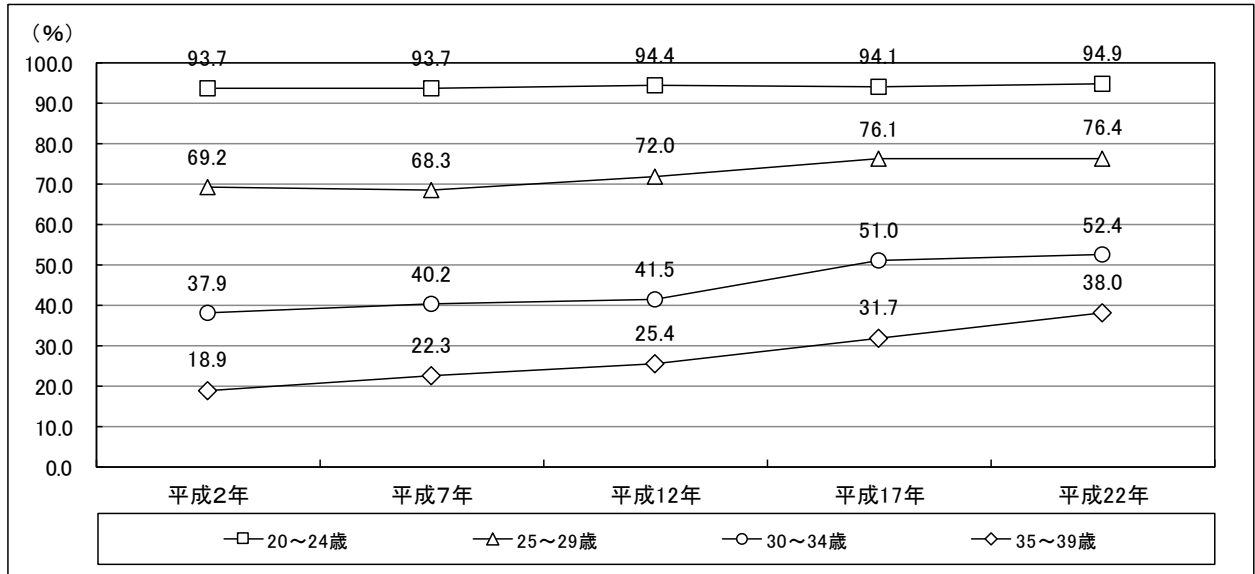
平成2年以降、男女とも、また各年代とも年々上昇しています。特に男性は年齢が高くなるほど上昇率が高く、35～39歳で19.1ポイント上昇しています。また、女性は25～39歳の上昇率が高く、30～34歳では、25.2ポイントと大きく上昇しています。

◆男女の年代別未婚率の推移

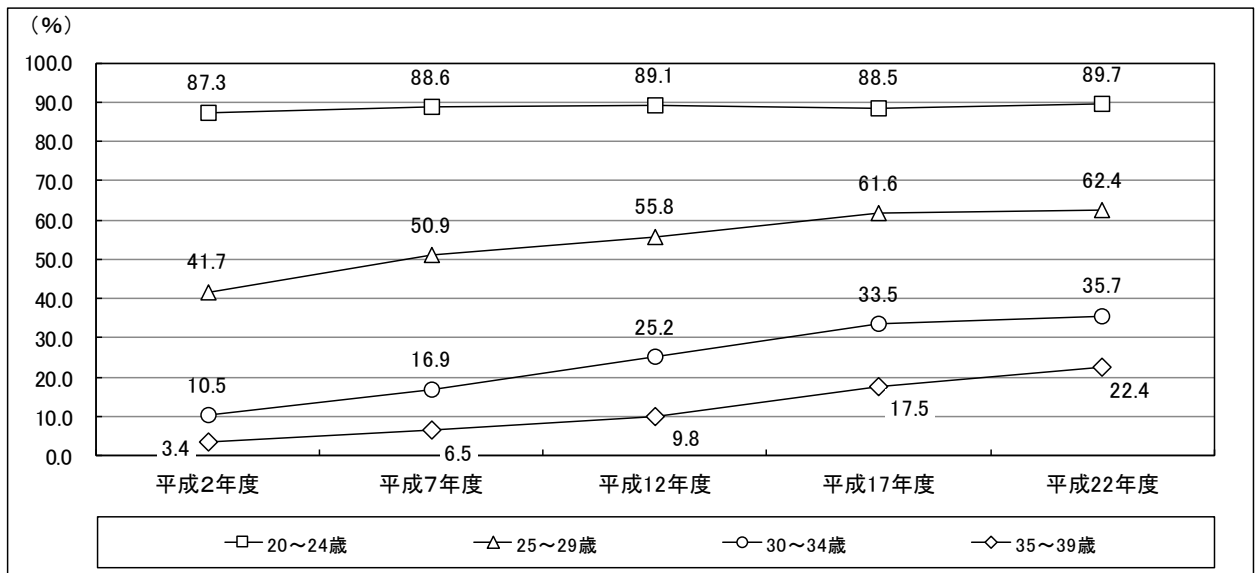
区分		単位	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
男性未婚率	20～24歳	%	93.7	93.7	94.4	94.1	94.9
	25～29歳	%	69.2	68.3	72.0	76.1	76.4
	30～34歳	%	37.9	40.2	41.5	51.0	52.4
	35～39歳	%	18.9	22.3	25.4	31.7	38.0
女性未婚率	20～24歳	%	87.3	88.6	89.1	88.5	89.7
	25～29歳	%	41.7	50.9	55.8	61.6	62.4
	30～34歳	%	10.5	16.9	25.2	33.5	35.7
	35～39歳	%	3.4	6.5	9.8	17.5	22.4

資料：国勢調査

◆男性の年代別未婚率の推移



◆女性の年代別未婚率の推移





第2章 子ども・子育てを取り巻く現状

(6) 女性の就業率

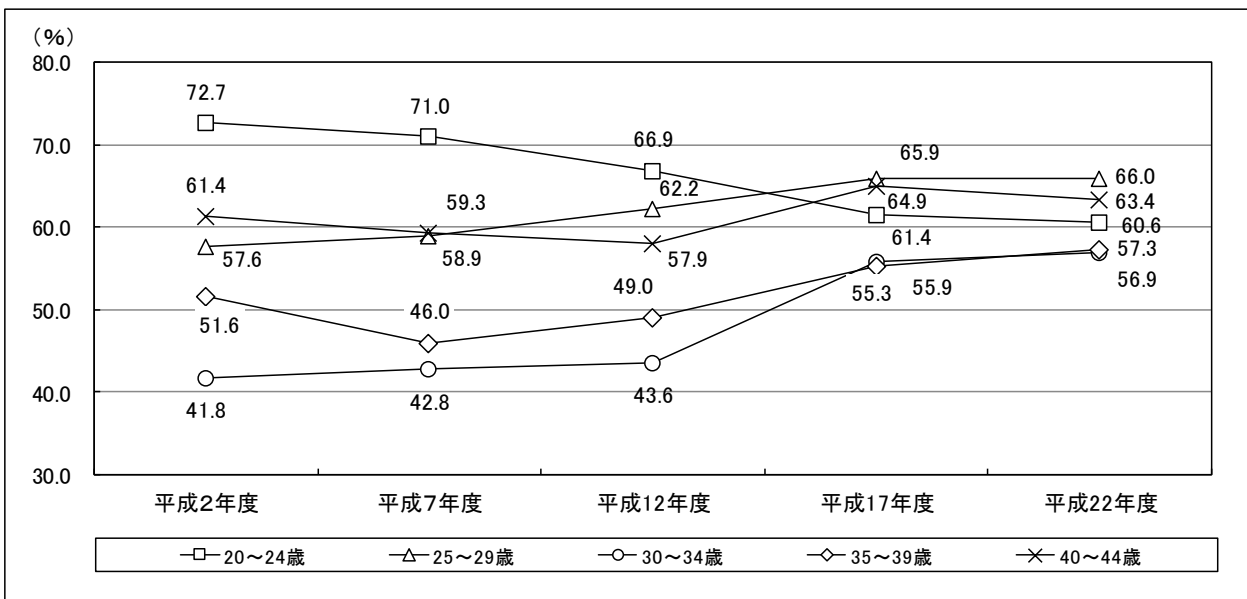
本町の女性の年代別就業率について国勢調査で見ると、平成22年は20～24歳が60.6%、25～29歳が66.0%、30～34歳が56.9%、35～39歳が57.3%、40～44歳が63.4%となっています。平成2年以降の推移を見ると、20～24歳は低下していますが、25歳以上については各年代とも上昇しています。

◆女性の就業率の推移

区 分		単位	平成2年度	平成7年度	平成12年度	平成17年度	平成22年度
女性就業率	20～24歳	%	72.7	71.0	66.9	61.4	60.6
	25～29歳	%	57.6	58.9	62.2	65.9	66.0
	30～34歳	%	41.8	42.8	43.6	55.9	56.9
	35～39歳	%	51.6	46.0	49.0	55.3	57.3
	40～44歳	%	61.4	59.3	57.9	64.9	63.4

資料: 国勢調査

◆女性の就業率の推移



(7) 児童・生徒数の推移

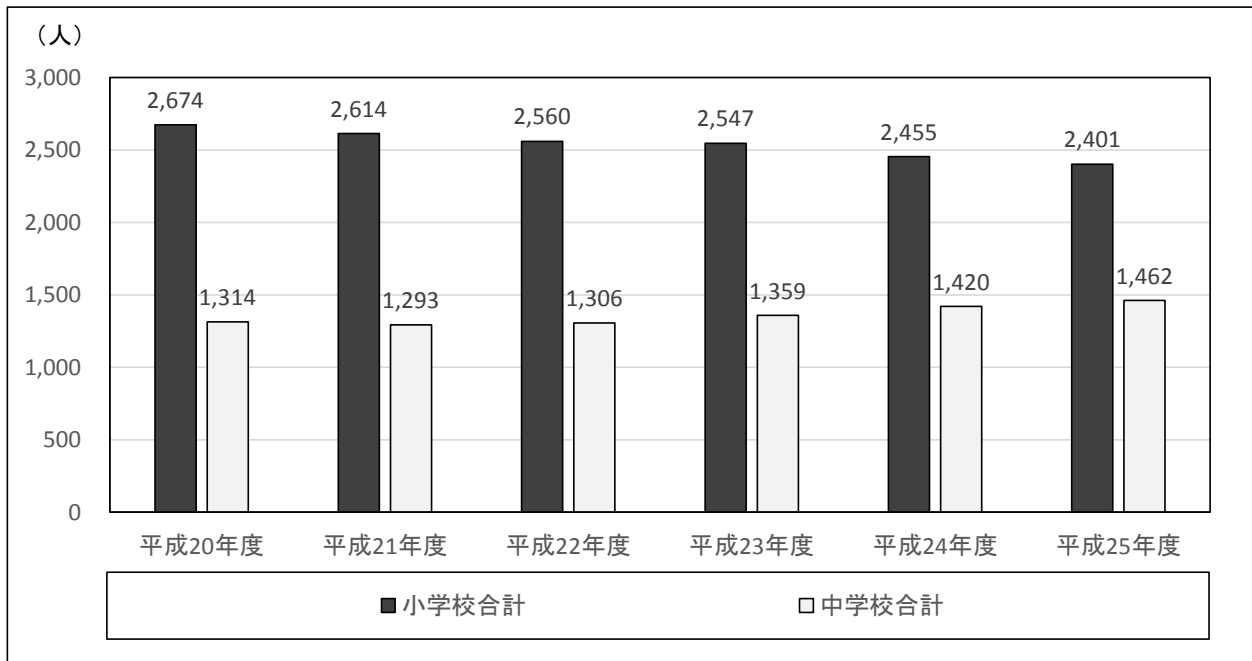
平成25年度の本町の小学校児童数は2,401人、中学校生徒数は1,462人になっています。平成20年度以降、小学校は年々減少を続けています。平成20年度からの5年間の減少数は、小学校で273人、一方、中学校では148人増加しています。

◆小学校児童数、中学校生徒数の推移

区 分		単 位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	5年間の増減
小学校合計	児童数	人	2,674	2,614	2,560	2,547	2,455	2,401	-273
中学校合計	生徒数	人	1,314	1,293	1,306	1,359	1,420	1,462	148

資料：学校基本調査

◆小学校児童数、中学校生徒数の推移



## 2 ニーズ調査結果の概要

### (1) 調査の概要

「子ども・子育て支援法」に基づく「杉戸町子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けて、町民の子育て生活の実態や就労状況、子育て支援に関する要望や意見を把握するために、「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査」を実施しました。

調査の種類と対象者及び実施概要は、以下のとおりです。

#### ① 調査の種類と対象者

種類	対象者	対象者数
就学前児童	平成25年10月1日現在、住民基本台帳に掲載されている就学前の児童を無作為抽出	1,500人
小学生	平成25年10月1日現在、住民基本台帳に掲載されている小学生を無作為抽出	1,500人

#### ② 実施概要

種類	対象地域	調査形式	配付・回収方法	調査時期
就学前児童	杉戸町全域	アンケート調査	郵送配付	平成25年 10月29日～11月15日
小学生			郵送回収	

#### ③ 回収結果

区分	調査票配付数	有効回収数	有効回収率
就学前児童	1,500通	871通	58.1%
小学生	1,500通	876通	58.4%

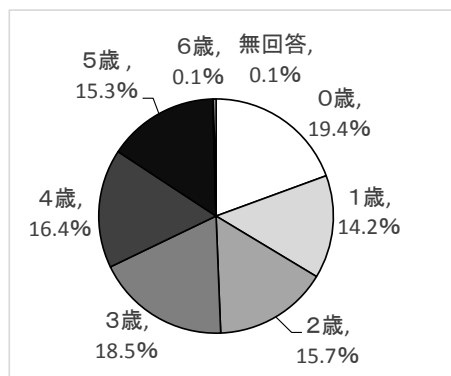
(2) 就学前児童調査結果の概要

① お子さんご家族の状況

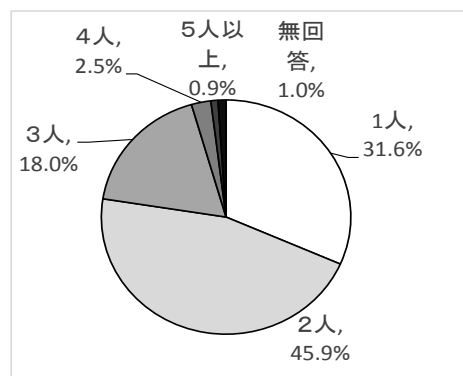
調査対象となった子どもの年齢構成は、「0歳」が最も多く、19.4%を占め、次いで「3歳」の18.5%、「4歳」の16.4%、「2歳」の15.7%、「5歳」の15.3%「1歳」の14.2%となっています。偏りなく、ほぼ均等の年齢構成になっています。

対象の子どもを含めた兄弟の数は「2人」が最も多く、45.9%を占め、「1人」の31.6%、「3人」の18.0%が続いています。その他はごくわずかとなっています。

◆子どもの年齢



◆兄弟の数

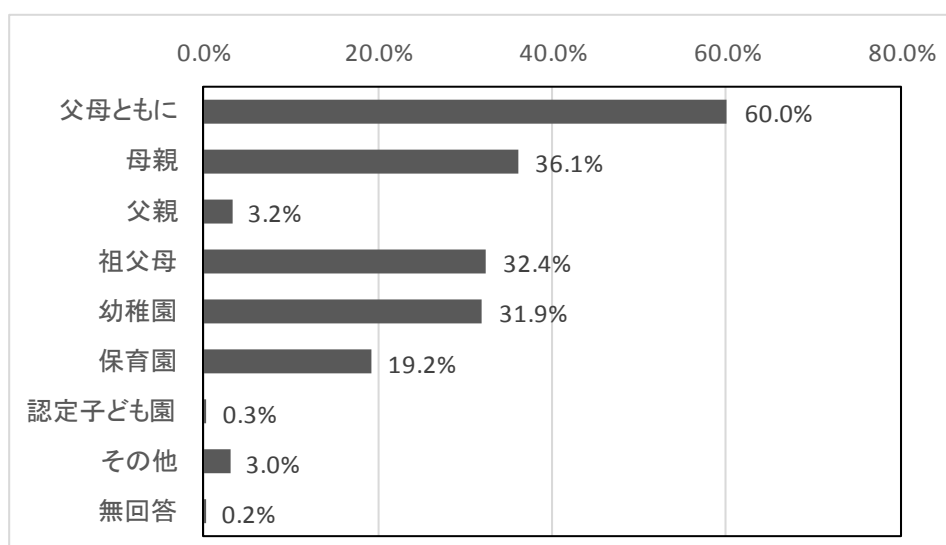


② 子どもの育ちをめぐる環境

ア. 子育てに関わっている方

子育てに日常的に関わっている方は、「父母ともに」との回答が60.0%であり、「母親」の36.1%が続きます。「祖父母」の関わりは32.4%であり、「幼稚園」の31.9%と「保育園」(※注書き参照)の19.2%を合わせると51.1%と過半数を超えています。

◆子育てに関わっている方



※注：「保育所」と「保育園」の用語の使い分け

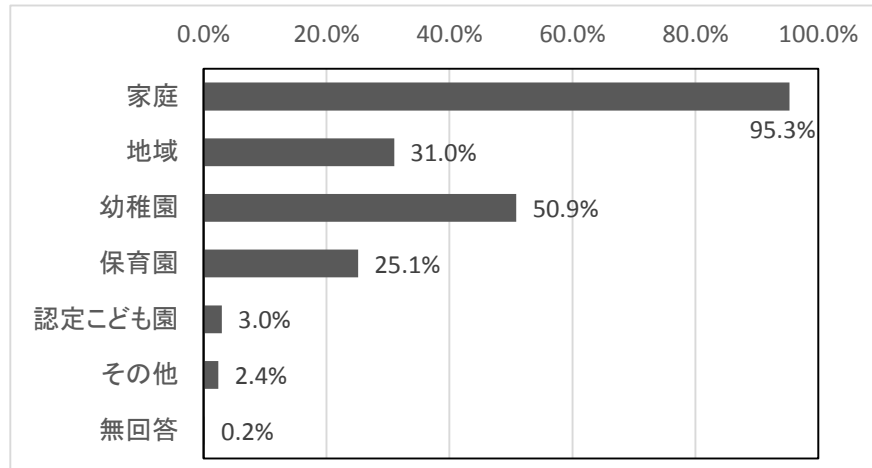
法律の用語として用いる場合は「保育所」、一般的な呼称として用いる場合は「保育園」を使います。また、固有名詞の場合はそれぞれを使います。

## 第2章 子ども・子育てを取り巻く現状

### イ. 子育てに影響する環境

子育てに最も影響する環境については、「家庭」が95.3%とほとんどが回答しており、次いで「幼稚園」の50.9%、「地域」の31.0%となっており、「幼稚園」50.9%と「保育園」の25.1%を合わせると76.0%となります。

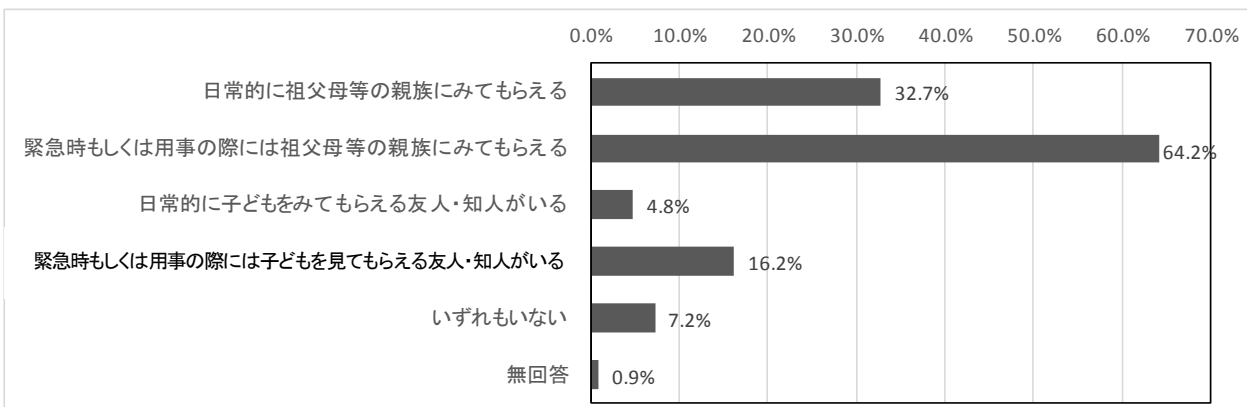
◆子育てに影響する環境



### ウ. みてもらえる親族・知人

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」との回答が最も多く、64.2%を占めます。次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の32.7%が続きます。また、親族・知人の「いずれもない」との回答が7.2%を示しています。

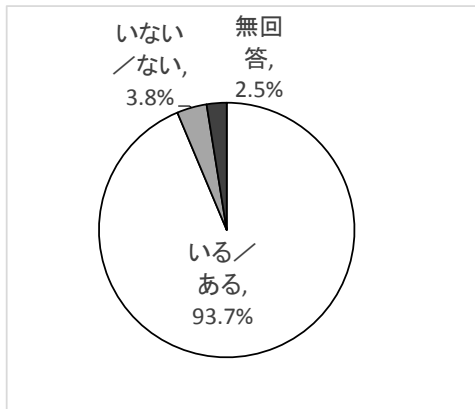
◆みてもらえる親族・知人



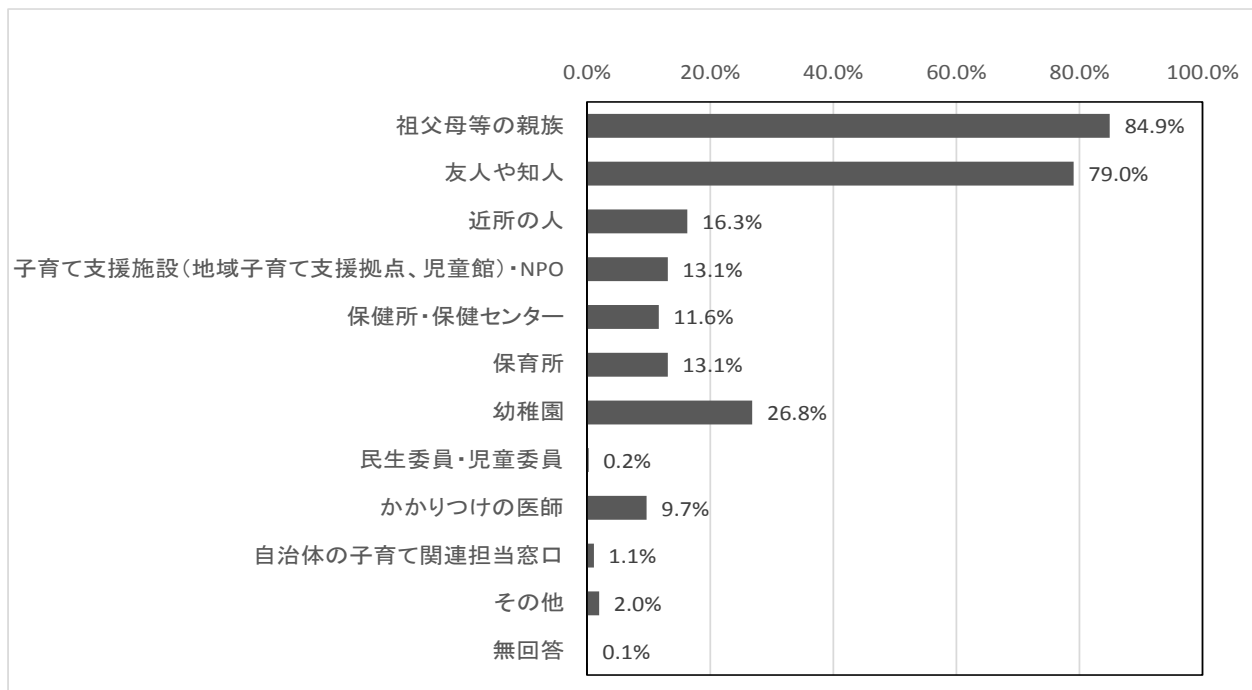
エ. 気軽に相談できる人の有無、相談先

子育てについて、気軽に相談できる人の有無については、「いる/ある」が93.7%とほとんどを占めます。また、相談先については、やはり「祖父母等の親族」が84.9%と最も多く、次いで「友人や知人」の79.0%が続きます。みてもらえる先の回答と比較し、「友人や知人」の回答が大きく上昇しています。

◆気軽に相談できる人の有無



◆相談先



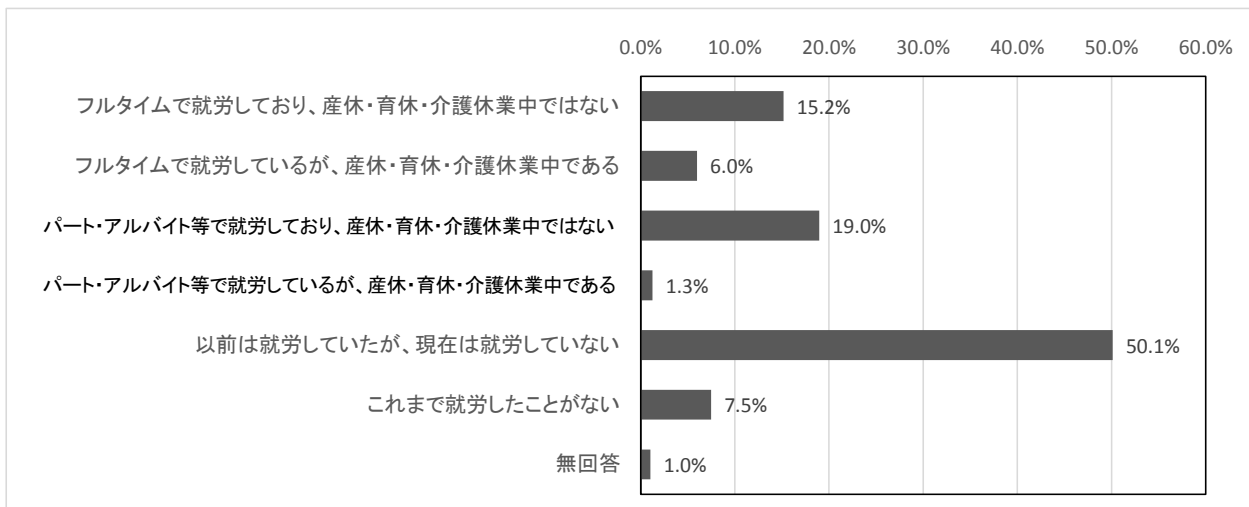
## 第2章 子ども・子育てを取り巻く現状

### ③ 保護者の就労状況

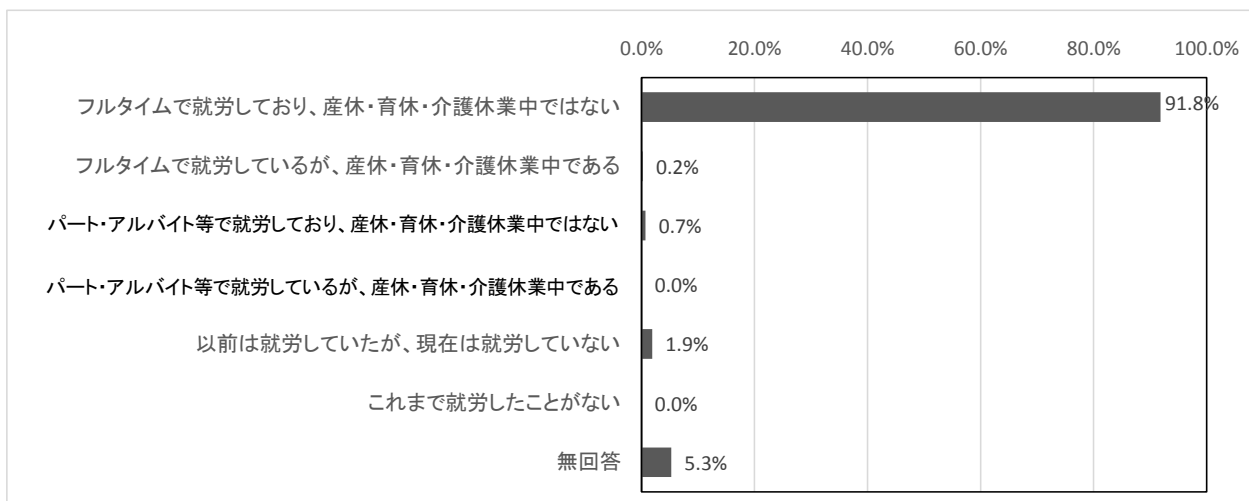
母親、父親の就労状況について、まず母親については、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が50.1%を占めます。次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の19.0%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の15.2%が続きます。「産休・育休・介護休業中」は「パート・アルバイト等」と「フルタイム」を合わせると、7.3%になっています。

父親については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の91.8%の他は、いずれもごくわずかの回答率となっています。

#### ◆母親の就労状況



#### ◆父親の就労状況



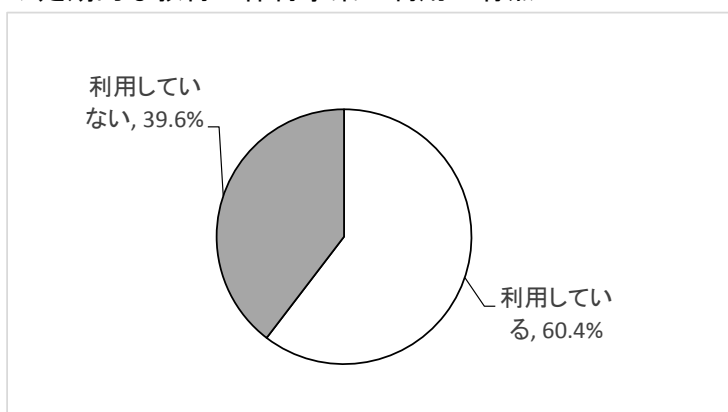
④ 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

平日の定期的な教育・保育事業（幼稚園や保育所など）の利用については、「利用している」が60.4%を占め、「利用していない」が39.6%となっています。

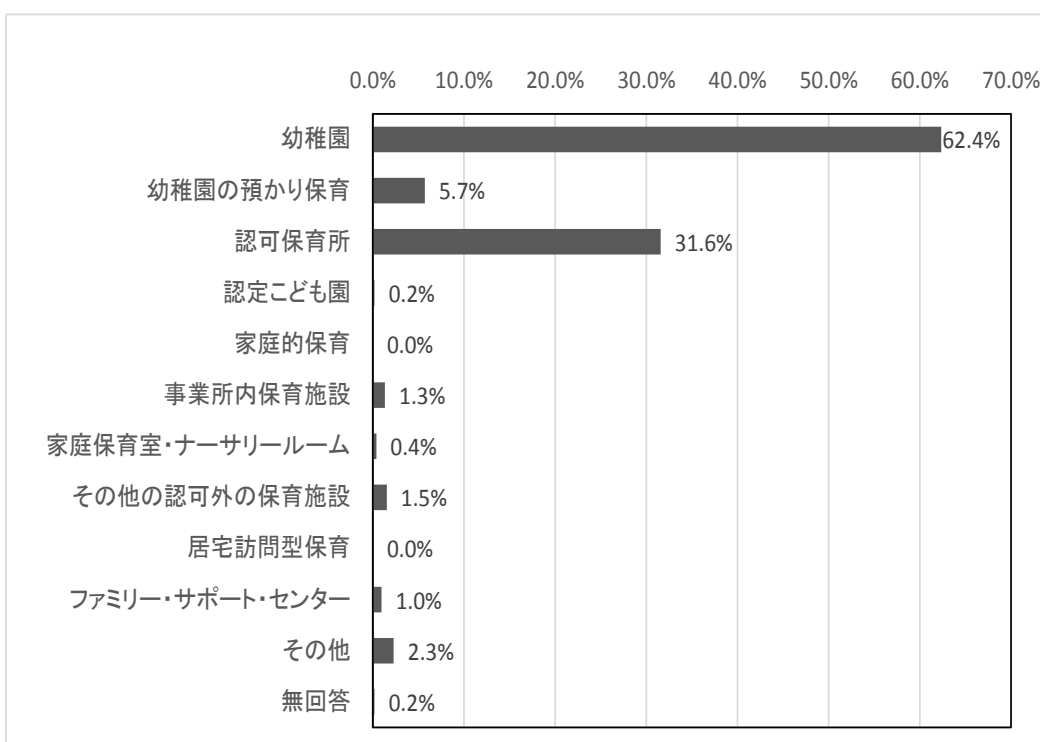
利用している定期的な教育・保育事業の内容については、「幼稚園」が最も多く62.4%を占め、「認可保育所」が31.6%で続きます。その他は「幼稚園の預かり保育」が5.7%を示しています。

利用したい定期的な教育・保育事業の内容については、現在の利用と同様「幼稚園」が最も多く75.0%を占め、「幼稚園の預かり保育」の39.5%が続きます。その他、「認可保育所」が30.7%、「認定こども園」が16.4%、「事業所内保育施設」が10.2%、「ファミリー・サポート・センター」が10.0%と、現在の利用を大きく上回る回答率を示しています。

◆ 定期的な教育・保育事業の利用の有無



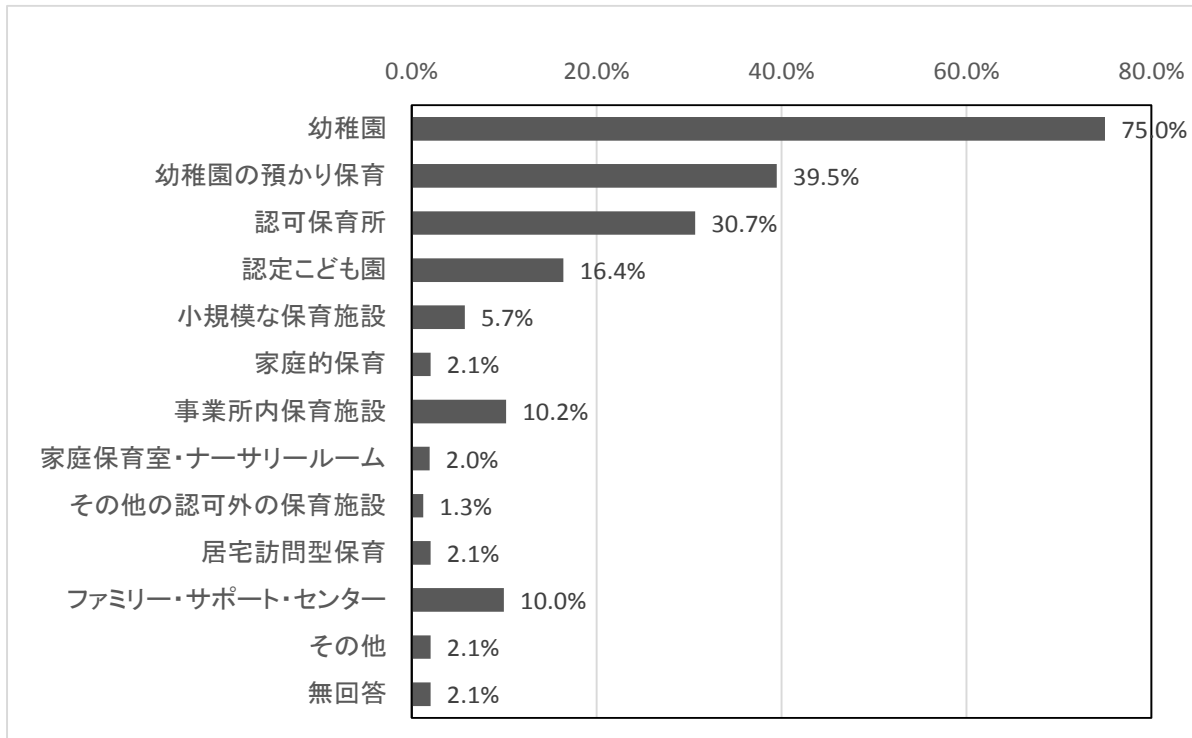
◆ 利用している定期的な教育・保育事業の内容





## 第2章 子ども・子育てを取り巻く現状

### ◆利用したい定期的な教育・保育事業の内容



#### 【用語の説明】

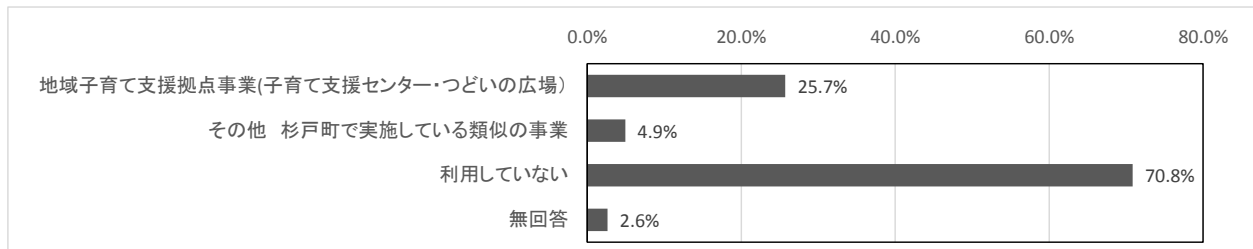
- ※幼稚園の預かり保育 : 通常の就園に加え、就園時間を延長して預かる事業  
(定期的な利用の場合)
- ※認定こども園 : 幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設
- ※家庭的保育 : 保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業  
(保育ママ)
- ※事業所内保育施設 : 企業が従業員用に運営する施設
- ※家庭保育室・ナーサリールーム : 市町村の指定・認可を受けた認可外保育施設
- ※居宅訪問型保育 : ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭を訪問  
し保育する事業
- ※ファミリー・サポート・センター : 保育所への送迎や学童保育修了後に一時的に子どもを  
預かる事業

⑤ 地域子育て支援拠点事業の利用状況

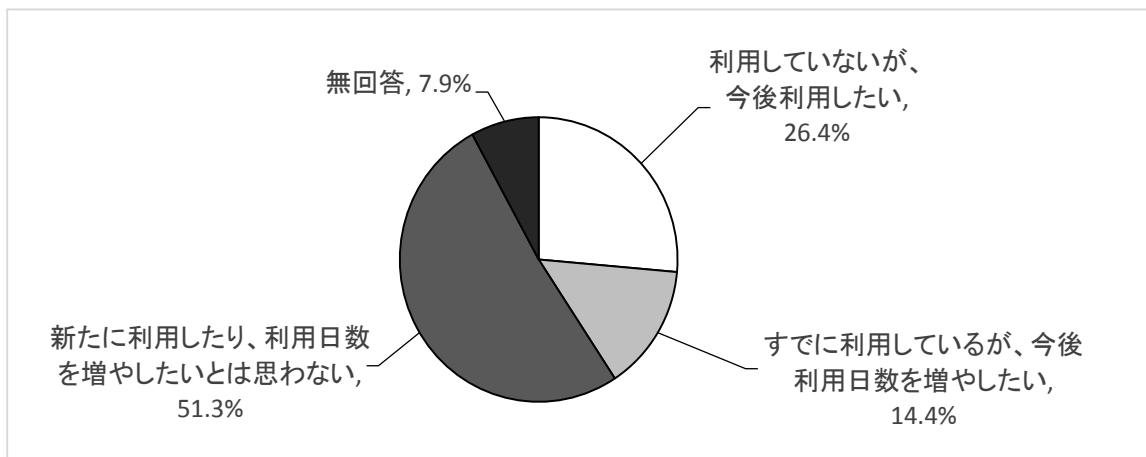
地域子育て支援拠点事業の利用状況については、「利用していない」が70.8%を占め、「地域子育て支援拠点事業」を利用している方は25.7%で、「類似の事業」を利用している方の4.9%を合わせても、30.6%に止まっている。

今後の利用意向については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が51.3%と半数以上を占め、「利用していないが、今後利用したい」との回答は26.4%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は14.4%を示しています。

◆地域子育て支援拠点事業の利用状況



◆地域子育て支援拠点事業の利用意向



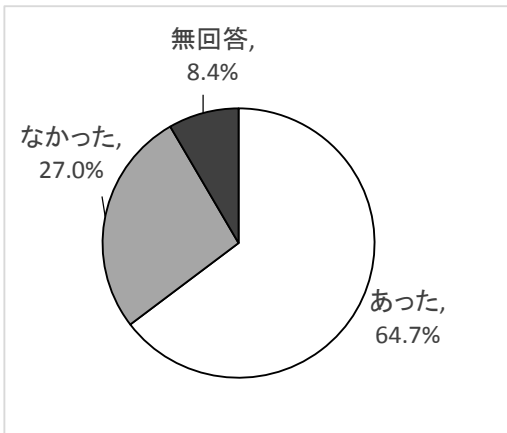
※地域子育て支援拠点事業とは、親子が集まって過ごしたり、相談したり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」、「なかよし広場」等と呼ばれています。

⑥ お子さんの病気の際の対応

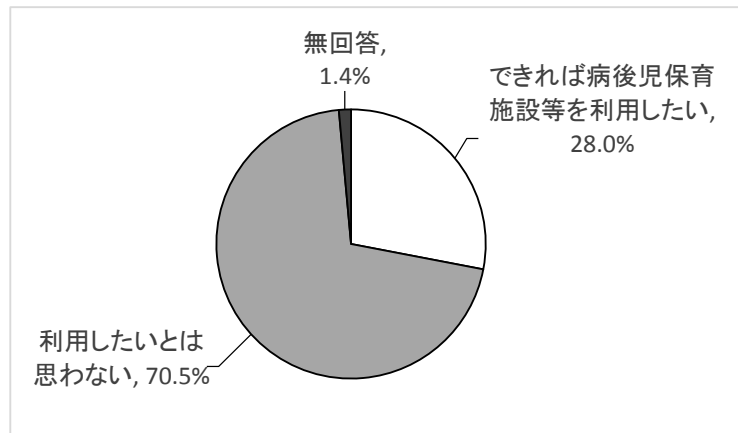
この1年間でお子さんが病気やケガで通常の幼稚園、保育園等が利用できなかったとありましたかとの問いに、「あった」との回答が64.7%を占めています。

またその際、病児・病後児のための保育施設等について、「できれば病後児保育施設等を利用したい」と思ったとの回答は28.0%、「利用したいとは思わない」との回答が70.5%の構成になっています。

◆定期的教育・保育を利用できなかったことの有無



◆病児・病後児保育の利用意向

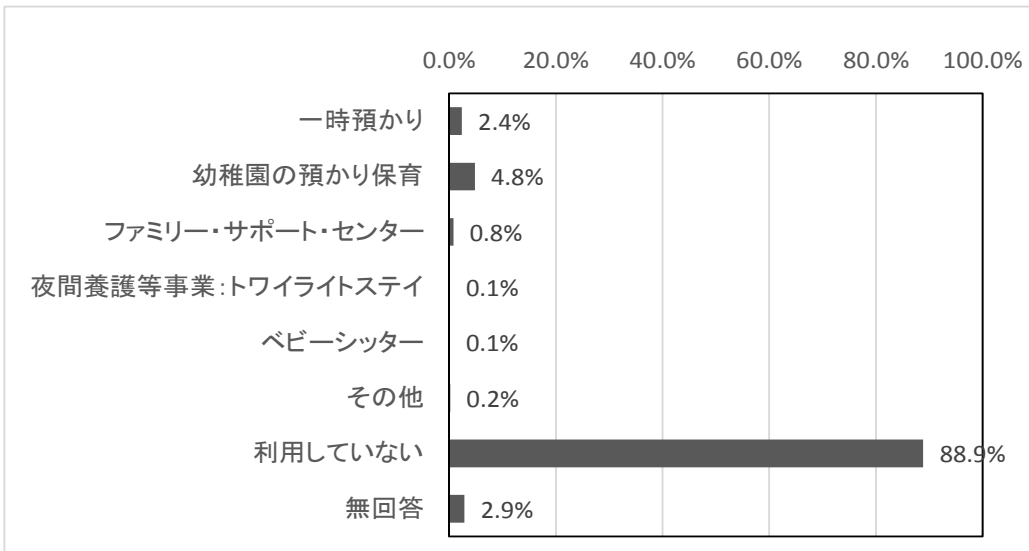


⑦ 不定期の教育・保育事業の利用、宿泊を伴う一時預かり等の利用

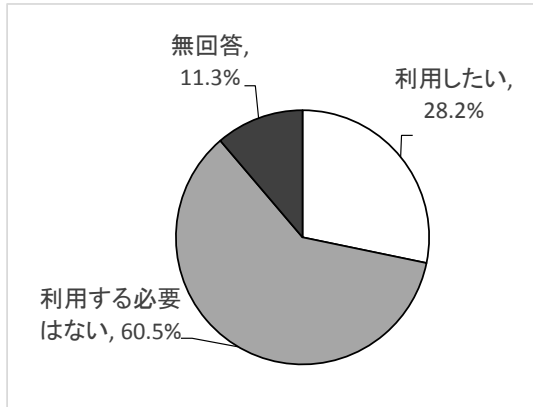
保護者の私用、通院、不定期な就労により、不定期な教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等のサービスについての現在の利用状況については、「幼稚園の預かり保育」の利用が4.8%を示し、その他についてはわずかですが、保育園の「一時預かり」が2.4%、「ファミリー・サポート・センター」が0.8%を示しています。

今後の利用希望については、そのようなサービス事業を「利用したい」との回答が28.2%を示しています。

◆利用している一時預かり等の事業



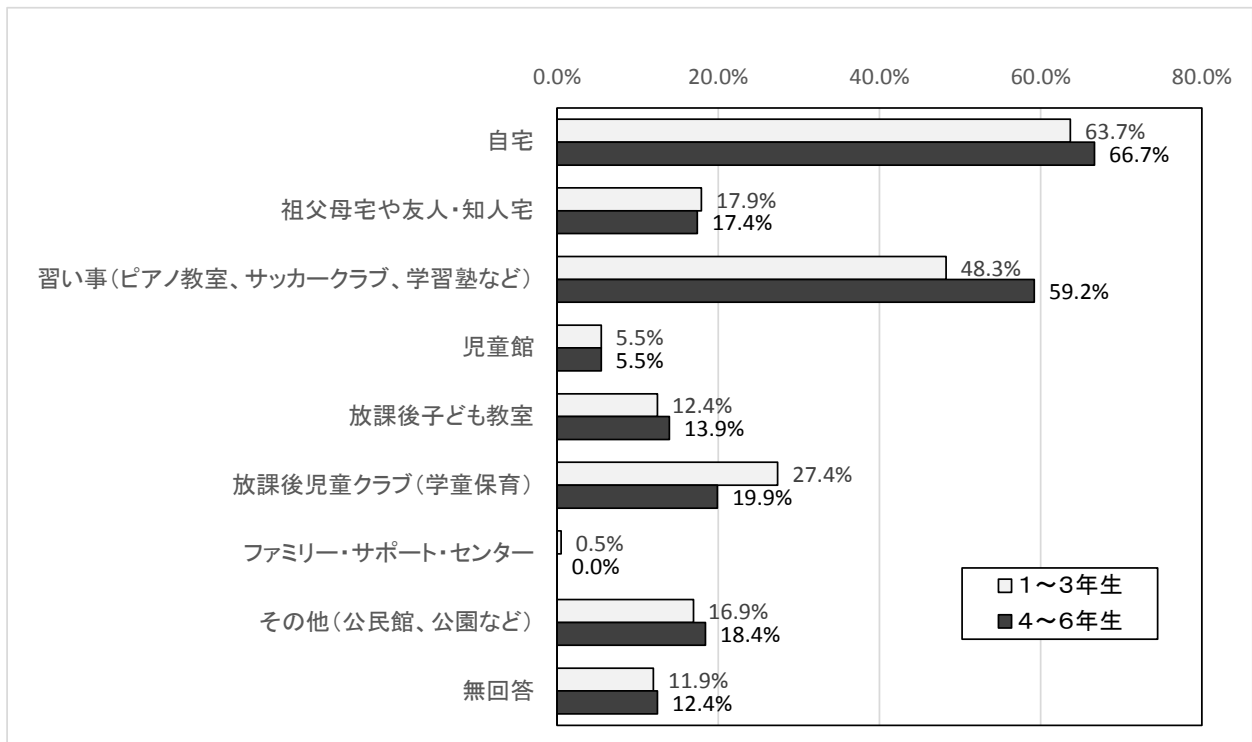
◆一時預かり等の利用意向



⑧ 放課後の過ごし方

5歳児のお子さんの保護者に対する質問で、今後、お子さんの小学校放課後の過ごし方の希望を聞いたところ、低学年（1～3年生）の時は「自宅」が最も多く63.7%を示し、「習い事」の48.3%が続きます。高学年（4～6年生）の時も同じく、最も多いのが「自宅」の66.7%で、「習い事」の59.2%が続きます。その他の過ごし方として、低学年では「放課後児童クラブ（学童保育）」27.4%、「祖父母宅や友人・知人宅」17.9%が、また、高学年では「放課後児童クラブ（学童保育）」19.9%、「その他（公民館、公園など）」18.4%の回答が続いています。

◆放課後の過ごし方

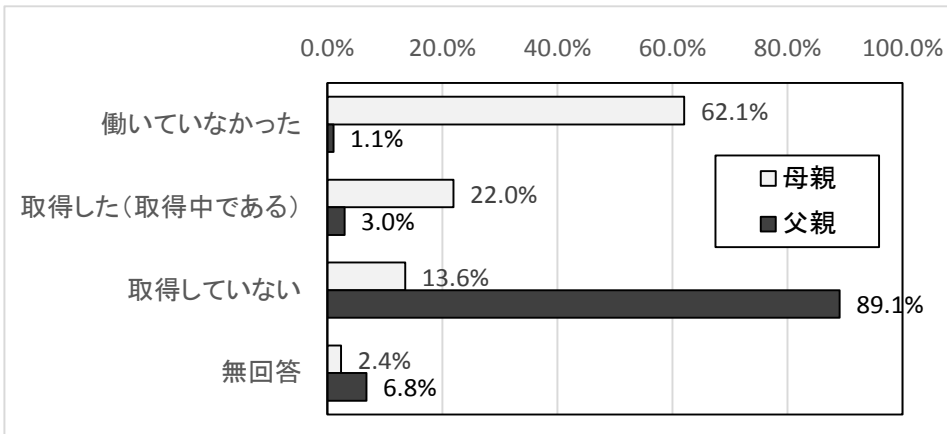


⑨ 職場の両立支援制度の利用

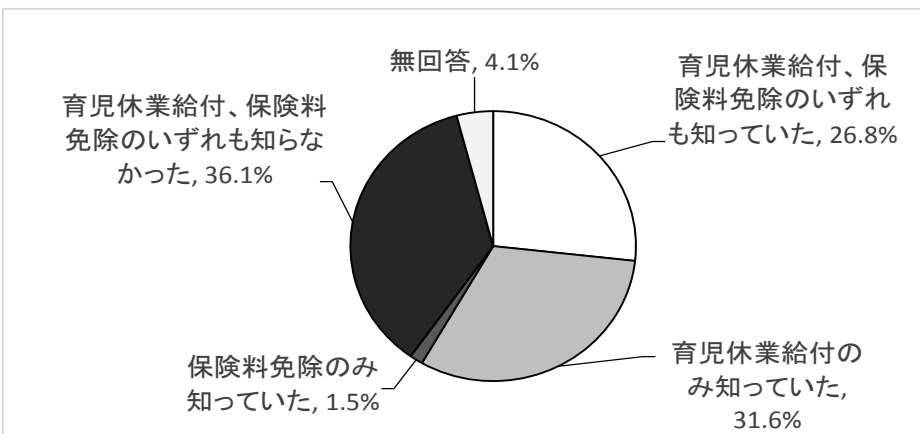
父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得したかについては、母親が「取得した（取得中である）」との回答が22.0%で、父親が3.0%となっています。父親は「取得していない」が89.1%とほとんどを占め、母親は「働いていなかった」が62.1%と半数強を占めています。

育児休業給付、健康保険・厚生年金保険の保険料免除の制度についての認知状況については、「いずれも知っていた」との回答は26.8%で、「いずれも知らなかった」が36.1%であり、「知らなかった」が上回っています。また、「育児休業給付のみ知っていた」が31.6%、「保険料免除のみ知っていた」が1.5%であり、それぞれの認知は、「育児休業給付」が58.4%、「健康保険・厚生年金の保険料免除」が28.3%となります。「健康保険・厚生年金の保険料免除」の認知が低いことがわかります。

◆ 育児休業の取得状況



◆ 育児休業給付、健康保険・厚生年金の保険料免除の認知状況



### 3 子ども・子育て支援事業の現状

#### (1) 保育所（園）の状況

##### ① 保育所（園）の概要

本町には現在、公立3か所、私立3か所、合計6か所の保育所（園）があります。これらのサービス概要は以下のとおりです。

保育の対象年齢は、生後6か月からが最も低く、5か所の園で行っています。定員については、最も多いのが泉保育園と高野台保育園の100名で、最も少ないのが双葉保育園の20名です。

保育時間については、全ての園で開所時間が7:00～19:00になっており、また全ての園で延長保育を行っています。一時預かり保育については現在4園で行っていません。

#### ◆保育所（園）の概要

施設名	公・私	対象年齢	定員(名)	保育時間	延長保育	一時預かり
泉保育園	公	生後6か月から	100	7:00～19:00	○	○
内田保育園	公	満2歳から	70	7:00～19:00	○	○
高野台保育園	公	生後6か月から	100	7:00～19:00	○	○
わかば保育園	私	生後6か月から	60	7:00～19:00	○	-
高野台こどもの家保育園	私	生後6か月から	60	7:00～19:00	○	○
双葉保育園	私	生後6か月から	20	7:00～19:00	○	-

資料: 杉戸町子育て支援課調べ

##### ② 園児数の推移

本町の保育所（園）の入所園児数は平成25年度現在、423人になっています。合計の定員が410人で、定員を若干上回る入所数（入所率103.2%）になっています。最も園児数が多い園は、高野台保育園の123人で、最も少ない園は、双葉保育園の27人となっています。入所率（入所数/定員）を見ると、4園が100%を超え、1園が85.0%で、1園が68.3%になっています。最も入所率が高いのが双葉保育園の135.0%で、最も低いのが高野台こどもの家保育園の68.3%となっています。

平成20年以降の5年間の推移を見ると、平成20年の348人から年々着実に増加しており、この5年間で75人増加しました。増加数が最も大きい園が高野台保育園の25人で、最も少ないのがわかば保育園と双葉保育園の3人となっています。

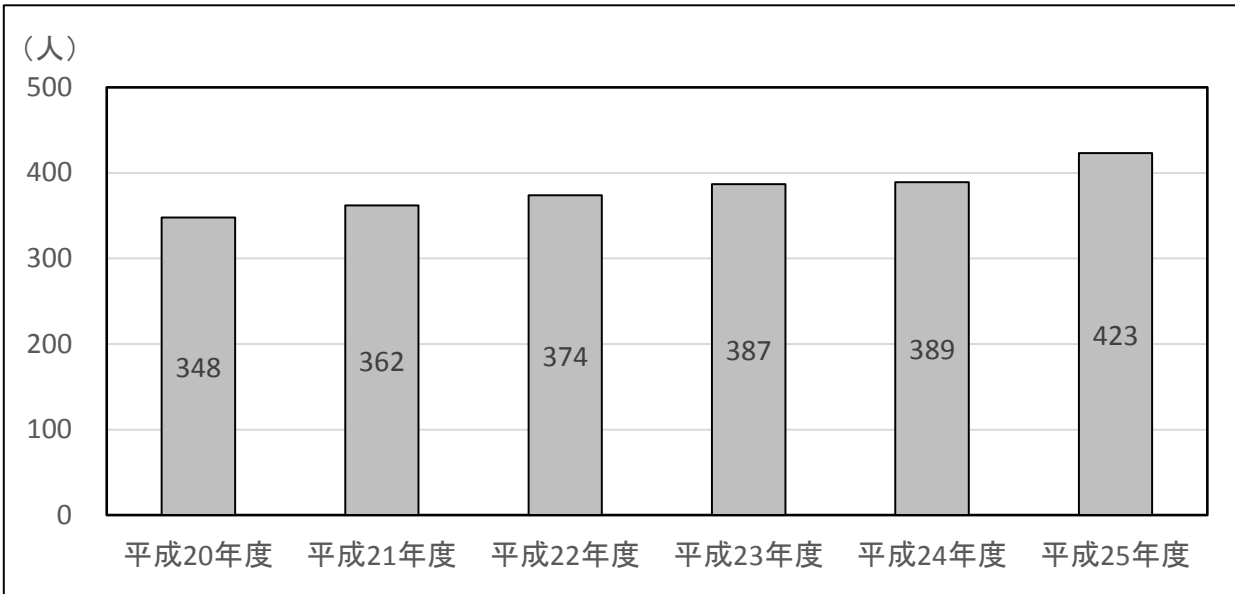
#### ◆各園の園児数の推移

項目	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	定員	入所率	5年間の増減
泉保育園	実数(人)	61	69	73	73	75	85	100	85.0%	24
内田保育園	実数(人)	70	58	58	79	77	78	70	111.4%	8
高野台保育園	実数(人)	98	108	115	111	114	123	100	123.0%	25
わかば保育園	実数(人)	66	68	72	69	70	69	60	115.0%	3
高野台こどもの家保育園	実数(人)	29	30	29	28	26	41	60	68.3%	12
双葉保育園	実数(人)	24	29	27	27	27	27	20	135.0%	3
合計	実数(人)	348	362	374	387	389	423	410	103.2%	75
対前年度増減数	実数(人)		14	12	13	2	34			

資料: 杉戸町子育て支援課調べ(各年度5月1日現在) ※泉保育園平成23年度まで定員80名 ※高野台こどもの家保育園平成24年度まで定員27名

## 第2章 子ども・子育てを取り巻く現状

### ◆総園児数の推移



### ③ 園児の年齢構成

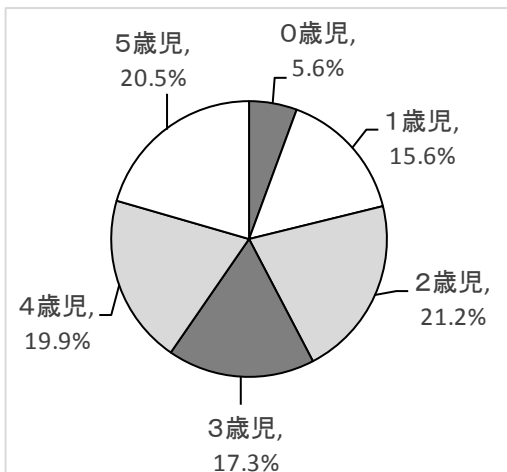
平成26年5月1日現在、入所園児の年齢構成比を町全体で見ると、最も多いのが2歳児の21.2%で、5歳児が20.5%、4歳児が19.9%、3歳児が17.3%、1歳児が15.6%、0歳児が5.6%の構成になっています。

### ◆各園の年齢別園児数

項目	単位	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
泉保育園	実数(人)	5	15	18	14	22	22	96
内田保育園	実数(人)	—	—	20	16	20	26	82
高野台保育園	実数(人)	7	23	23	23	23	23	122
わかば保育園	実数(人)	5	13	13	13	12	14	70
高野台こどもの家保育園	実数(人)	5	8	12	7	10	7	49
双葉保育園	実数(人)	4	13	12	7	5	3	44
合計	実数(人)	26	72	98	80	92	95	463
	構成比(%)	5.6	15.6	21.2	17.3	19.9	20.5	100.0

資料: 杉戸町子育て支援課調べ(平成26年5月1日現在)

### ◆園児の年齢構成



## (2) 幼稚園の状況

## ① 幼稚園の概要

本町には現在、6か所の幼稚園があり、5か所が公立、1か所が私立で運営されています。6園のサービス概要は以下のとおりです。

認可定員については最も多いのが杉戸白百合幼稚園の400人、最も少ないのが南幼稚園の105人で、半数が200人台になっています。対象年齢は1園のみが満3歳児からとなっています。また預かり保育は1園のみ実施しています。

## ◆幼稚園の概要

施設名	公・私	認可定員	満3歳児保育	預り保育	預り保育時間	園バス
中央幼稚園	公立	280	×	×	×	×
中央第二幼稚園	公立	140	×	×	×	×
東幼稚園	公立	280	×	×	×	○
西幼稚園	公立	210	×	×	×	×
南幼稚園	公立	105	×	×	×	×
杉戸白百合幼稚園	私立	400	○	○	7:30~19:00	○

資料: 杉戸町学校教育課調べ

## ② 園児数の推移

本町内の公立幼稚園の総園児数は平成25年4月1日現在、475人になっています。平成21年度から平成25年度の4年間の推移をみると、園児数は56人減少しています。

## ◆幼稚園児数の推移

項目	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	4年間の増減
町内公立幼稚園	実数(人)	531	529	523	484	475	-56
対前年度増減数	実数(人)		-2	-6	-39	-9	

資料: 杉戸町学校教育課調べ ※公立幼稚園のみの園児数(4月1日現在)

## ③ 園児の年齢構成

平成26年4月1日現在の町内公立幼稚園の入園児年齢構成比をみると、最も多いのが4歳児の163人(全体の36.4%)で、5歳児が154人(同34.4%)、3歳児が131人(同29.2%)の構成になっています。

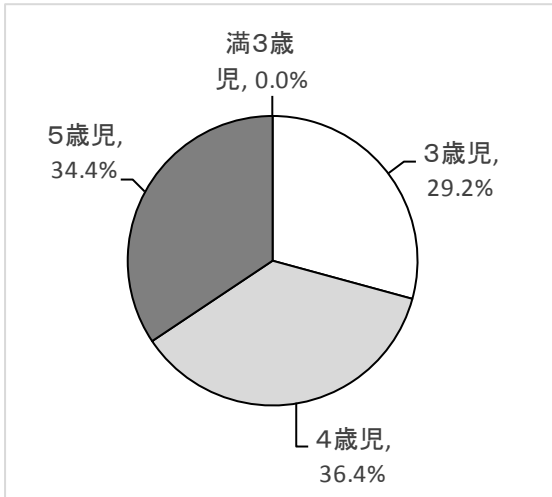
## ◆幼稚園児の年齢構成

項目	単位	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
町内公立幼稚園	実数(人)	0	131	163	154	448
	構成比(%)	0.0	29.2	36.4	34.4	100.0

資料: 杉戸町学校教育課調べ(平成26年4月1日現在)



◆幼稚園児の年齢構成



(3) 放課後児童クラブの状況

平成26年3月1日現在、本町には7か所の放課後児童クラブがあり、小学校1年生から4年生までを対象にサービスを提供しています。利用定員は全体で345人あり、それに対し平成25年度の利用者数は全体で271人、利用率（利用者数／定員数）は78.6%となっています。

最も利用者数が多いのは西放課後児童クラブの50人で、最も少ないのは南放課後児童クラブの21人となっています。平成22年度からの3年間の利用者数合計の推移を見ると、228人から271人で推移しています。

利用者の学年構成比をみると、最も多いのが1年生の35.1%で2年生が29.9%、3年生が24.7%、4年生が10.3%の構成になっています。学年が低いほど利用者数が多くなっています。

◆放課後児童クラブの状況

項目	小学校区	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	定員	利用率	3年間の増減
内田放課後児童クラブ	杉戸小学校	実数(人)	30	30	33	36	60	60.0%	6
内田第二放課後児童クラブ	杉戸小学校	実数(人)	31	25	31	38	45	84.4%	7
中央放課後児童クラブ	第二小学校	実数(人)	58	49	40	49	60	81.7%	-9
高野台放課後児童クラブ	高野台小学校	実数(人)	43	38	38	45	60	75.0%	2
泉放課後児童クラブ	泉小学校	実数(人)	16	22	29	32	30	106.7%	16
南放課後児童クラブ	第三小学校	実数(人)	14	17	15	21	30	70.0%	7
西放課後児童クラブ	西小学校	実数(人)	48	53	42	50	60	83.3%	2
合計		実数(人)	240	234	228	271	345	78.6%	31
対前年度増減数		実数(件)		-6	-6	43			

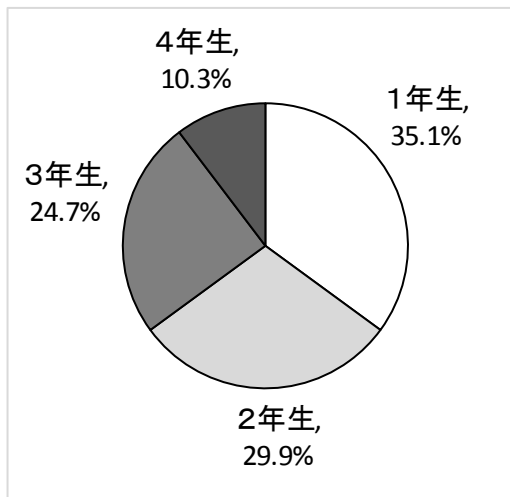
資料: 杉戸町子育て支援課調べ(3月1日現在の実人数)

## ◆放課後児童クラブ利用者の学年構成

項目	単位	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
児童数	実数(人)	95	81	67	28	271
	構成比(%)	35.1	29.9	24.7	10.3	100.0

資料: 杉戸町子育て支援課調べ(平成25年の児童数)

## ◆放課後児童クラブ利用者の学年構成



## (4) 児童館の状況

平成25年度現在、本町には1か所の児童館があり、子どもたちや保護者の遊び場、交流の場として利用され、年間の利用延べ人数は11,372人となっています。

平成23年度からの2年間の利用延べ人数の推移を見ると、5,813人から11,372人の5,559人増と、大幅に増加しています。

## ◆児童館の状況

項目	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	2年間の増減
泉児童館	実数(人)	5,813	9,906	11,372	5,559
合計	実数(人)	5,813	9,906	11,372	5,559
対前年度増減数	実数(人)		4,093	1,466	

資料: 杉戸町子育て支援課調べ

## (5) 子育て支援拠点の状況

平成25年度現在、本町には3か所の子育て支援拠点があり、子育てに関する情報の提供・相談・助言、また、子どもたちと保護者の遊び場、交流の場として利用されており、年間利用件数は全体で1,718件となっています。平成22年度以降、利用件数は1,500件から2,700件の間で推移しており、年度による利用件数の変動が大きくなっています。

## 第2章 子ども・子育てを取り巻く現状

### ◆子育て支援拠点の状況

項目	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	3年間の増減	備考
出前たんぼぼ広場	実数(件)	1,758	1,498	1,637	829	-929	杉戸子育て支援センター
出前ひまわり広場	実数(件)	-	-	1,019	727	727	泉子育て支援センター
出前ポラーノ広場	実数(件)	-	-	-	162	162	地域子育て支援センター
合計	実数(件)	1,758	1,498	2,656	1,718	-40	
対前年度増減数	実数(件)		-260	1,158	-938		

資料: 杉戸町子育て支援課調べ

### (6) 一時預かり事業の状況

平成25年現在、本町では4か所の保育所で実施しており、保護者の労働・就学、傷病、冠婚葬祭等の緊急時の一時的な預かり保育サービスを行っています。

平成25年度の利用者数は合計1,519人で、この3年間で676人増加しています。

### ◆一時預かり事業の状況

項目	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	3年間の増減
児童数	実数(人)	843	743	1,068	1,519	676
対前年度増減数	実数(人)		-100	325	451	

資料: 杉戸町子育て支援課調べ(保育所 公立3箇所、私立1箇所)

### (7) 病児保育の状況

本町では病児保育を「とんことり」の1か所で行っています。平成25年度の利用者数は275人で、3年間の利用者数の推移をみると、270人から340人の間で推移しています。

### ◆病児保育の状況(とんことり実績)

項目	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	3年間の増減
児童数	実数(人)	271	339	288	275	4
対前年度増減数	実数(人)		68	-51	-13	

資料: 杉戸町子育て支援課調べ

### (8) 乳児家庭全戸訪問事業の状況

本町では、生後4か月までの乳児がいる全家庭を対象に訪問し、相談・助言の支援を行っています。平成25年度の訪問件数は221件で、平成22年度以降221件から241件の間で推移しています。

### ◆乳児家庭全戸訪問事業の状況

項目	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	3年間の増減
児童数	実数(件)	225	224	241	221	-4
対前年度増減数	実数(件)		-1	17	-20	

資料: 杉戸町健康支援課調べ

## (9) 養育支援訪問事業の状況

乳児家庭全戸訪問で把握した、特に養育支援が必要な家庭に対しさらに訪問し、養育の相談・助言・指導を行っています。平成22年度以降、20件から32件で推移していましたが、平成25年度は8件と大きく減少しています。

## ◆養育支援訪問事業の状況

項目	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	3年間の増減
相談件数	実数(件)	32	20	23	8	-24
対前年度増減数	実数(件)		-12	3	-15	

資料: 杉戸町健康支援課調べ

## (10) ファミリー・サポート・センターの状況

教育・保育施設への送迎や児童の預かり、子育てなど、援助をお願いしたい人と援助を行いたい人が会員となり、相互援助活動の連絡・調整を行う事業で、平成25年度の会員数は依頼会員が304人、提供会員が114人、両方会員が25人の合計443人で、利用件数は2,839件となっています。

平成22年度以降、会員数、利用件数とも増加しており、この3年間で合計会員数が59人、利用件数が1,564件増加しています。

## ◆ファミリー・サポート・センターの状況

項目	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	3年間の増減	
会員数	依頼会員	実数(人)	288	299	309	304	16
	提供会員	実数(人)	74	94	103	114	40
	両方会員	実数(人)	22	25	25	25	3
	合計	実数(人)	384	418	437	443	59
	対前年度増減数	実数(人)		34	19	6	
利用件数	実数(件)	1,275	2,726	1,866	2,839	1,564	
対前年度増減数	実数(件)		1,451	-860	973		

資料: 杉戸町子育て支援課調べ

## (11) 妊婦健診の状況

安心・安全な出産を迎えるため、妊婦の定期的な健康診査を勧奨、実施しています。平成25年度の健診件数は276件で、平成22年度からの4年間は276件から336件の間で推移しています。

## ◆妊婦健診の状況

項目	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	3年間の増減
健診件数	実数(件)	309	336	277	276	-33
対前年度増減数	実数(件)		27	-59	-1	

資料: 杉戸町健康支援課調べ

(12) 杉戸町母子愛育会の活動

本町には杉戸町母子愛育会という町民団体があり、「自分たちの手で妊婦や子どもの健康を守ろう」との考えから地域のボランティアとして活動しています。

保健センターで行う離乳食教室、ママパパ教室等の町事業への協力や、「母と子の集い」の開催、母子手帳カバー、マタニティキーホルダー等の配布を行い、妊婦にやさしいまちづくりを推進する活動を行っています。

